

平成31年度各会計予算案の大綱

次に、平成31年度各会計予算案の大綱について、ご説明申し上げます。

平成31年度は統一地方選挙の年であることから、当初予算については、継続事業を中心とした骨格予算となりますが、「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「滝川市財政健全化計画」の最終年度の予算として、健全な財政運営の実現を目指すとともに、将来に向けた投資を図るなど、効率的かつ効果的に編成したものです。

現年度分収納率98.1%を目標とした市税の確保のほか、事務事業の見直し、組織・人件費の見直し、歳入の確保対策など財政健全化計画に掲げる内容を的確に反映するとともに、総合計画の7つの柱に基づき、予算を計上しました。

この結果、

一般会計	200億	3,700万円
特別会計	103億	4,298万円
下水道事業会計支出	26億	9,676万円
病院事業会計支出	78億	8,557万円

となり、各会計の歳出総額は409億6,231万円で、平成30年度当初予算と比較して、0.5%の減、金額では1億9,659万円の減となりました。

次に、会計別の概要を申し上げます。

一般会計におきましては、前年度に対して1億9,700万円増となる予算としましたが、地域経済の活性化を図るため、道路新設改良事業などの実施、骨格予算として滝の川斎苑改築工事費負担金や新築住宅助成事業補助金などの継続事業を一定程度盛り込むことにより、

予算額 200億3,700万円で、前年度比1.0%増となっています。

性質別にみますと、

人件費については、組織・人件費の見直しなどにより、

予算額 34億1,588万円で、前年度比0.6%の減

物件費は、ふるさと納税関連経費の増などにより、

予算額 23億2,167万円で、前年度比9.7%の増

扶助費は、児童扶養手当の増などにより、

予算額 37億2,156万円で、前年度比0.8%の増

建設事業費は、先に申し上げましたが、骨格予算のため、

予算額 3億3,523万円で、前年度比50.6%の減

公債費は、計画的な借り入れの成果などにより、

予算額 18億4,905万円で、前年度比2.9%の減となっています。

次に、国民健康保険特別会計におきましては、保険給付費の減などにより、
 予算額 46億9,592万円で、前年度比6.4%減
 公営住宅事業特別会計におきましては、住宅建設費の減などにより、
 予算額 8億1,873万円で、前年度比5.8%減
 介護保険特別会計におきましては、
 保険事業勘定は、保険給付費の減などにより、
 予算額 40億3,832万円で、前年度比1.2%減
 介護サービス事業勘定は、管理代行負担金の減などにより、
 予算額 7,509万円で、前年度比4.1%減
 介護保険特別会計総体では、
 予算額 41億1,342万円で、前年度比1.3%減
 後期高齢者医療特別会計におきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の増などにより、
 予算額 6億3,660万円で、前年度比3.7%増
 土地区画整理事業特別会計におきましては、西二号通の工事費の増などにより、
 予算額 7,831万円、前年度比116.5%増
 下水道事業会計におきましては、企業債償還金の減などにより、
 支出額 26億9,676万円で、前年度比7.2%減
 病院事業会計におきましては、特別損失の増などにより、
 支出額 78億8,557万円で、前年度比2.3%増となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について、各会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

道路新設改良事業費	2億 1,910万円	
滝川第二小学校体育館床改修事業費	2,640万円	
などを含め、総額で	3億 3,523万円	
公営住宅事業特別会計では、	4億 2,676万円	
土地区画整理事業特別会計では、	6,000万円	
下水道事業会計では、	6億 4,227万円	
全体で前年度比21.3%減の	14億 6,426万円	を計上しました。

引き続き、施策の主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「元気な産業と活力あるまちづくり」についてです。

農業を起点とした元気な地域産業づくりについては、

農業分野への企業参入支援や新たな商品開発・特産品の販路拡大を行うため、

農商工連携推進事業費 71万円 を計上しました。

持続可能な農業のための生産基盤・体制の確立については、

農業生産基盤や基幹農業水利施設の整備のため、

道営土地改良事業負担金 1,638万円

道営土地改良事業計画樹立事業負担金 53万円

農地・水路・農道などの地域資源の適切な保全管理を行う地域組織の活動を支援するため、

多面的機能支払交付金 1億3,397万円 を計上しました。

力強い産業の育成・雇用の確保については、

「外国人受入環境整備推進事業」や「りんごを核とした6次産業化」の推進を図るため、

「地域おこし協力隊員」計2名分 792万円

産業振興・雇用創出・地域経済活性化の取り組みを支援するため、

滝川市産業活性化協議会負担金 330万円

滝川ふれ愛の里のさらなる集客増加を目指すため、

滝川ふれ愛の里管理代行負担金 3,000万円

建設分野等における人材不足の課題解決に向け、外国人人材活用の基盤づくりを図るため、

自治体職員協力交流事業費 1,854万円

自治体職員協力交流事業におけるモンゴル国からの研修員受け入れに対応するため、

外国青年招致事業費 1,854万円 を計上しました。

次に、「豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり」についてです。

地域自ら取り組む地域振興事業の推進については、

江部乙地域の魅力をより一層向上させる活動を支援するため、

「日本で最も美しい村」江部乙協議会交付金 150万円 を計上しました。

集客・交流事業の推進については、

地域の優れた観光資源を活かし、観光事業の振興を図るため、

たきかわ観光協会補助金 1,005万円

観光拠点としてきた丸加高原伝習館については、今後のあり方を検討するため

丸加高原伝習館運営費 850万円 を計上しました。

広域観光の推進については、

地域が主体となって戦略的に観光事業を推進するため、

滝川砂川着地型観光推進協議会負担金 50万円 を計上しました。

次に、「機能的な生活基盤の充実したまちづくり」についてです。

コンパクトで機能的な都市の形成については、

公園施設を適正に維持管理し、安全性の確保と長寿命化を図るため、

公園長寿命化計画策定費 500万円

都市環状軸の形成に向けた都市計画街路3・4・15号西二号通等の整備を実施するため、

泉町土地地区画整理事業費 6,000万円

町内会などが管理している街路灯のLED灯への切り替えを促進するため、

街路灯設置補助金 1,400万円

市内経済の状況を考慮し、地域経済への波及効果の高い公共事業を実施するため、

普通建設事業費 14億6,426万円 を計上しました。

賑わいのある中心市街地の活性化については、

出店者の初期投資を軽減することで、空き店舗の流動化を促進するため、

店舗リノベーション支援事業補助金 170万円 を計上しました。

住宅ストックの適正管理については、

移住・定住と高品質な住宅建築などを促進するため、

新築住宅助成事業補助金 1,800万円

安全・安心な住宅ストックの形成に向け、耐震化工事を促進するため、

住宅耐震改修支援事業費 746万円

既存住宅ストックの有効活用により子育て世帯を支援するため、

住宅住み替え支援事業補助金 1,073万円 を計上しました。

次に、「誰もが住みよい安全安心なまちづくり」についてです。

市内公共交通の充実については、

JR北海道の路線見直しに伴い、根室本線対策協議会において維持存続に向けた検討を行うため、

根室本線対策協議会負担金 10万円

市民の移動手段である市内バス路線の維持確保を図るため、

一般乗合バス運行負担金 500万円 を計上しました。

災害に強いまちづくりについては、

災害時に必要な備蓄品を確保し、避難所の運営を行うため、

防災備蓄品購入費・避難所等経費 390万円

安全・安心な消防体制の充実を図るため、

水槽付き消防ポンプ車更新事業負担金 350万円

冬季における道路の安全を確保し、市民生活への影響を最小限に抑えるため、

除雪車両購入費 250万円 を計上しました。

次に、「未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり」についてです。

滝川市で教育を受けさせたいと思われる環境づくりについては、

より安心で快適な学校環境を整備するため、

滝川第二小学校体育館床改修事業費 2,640万円

地域を生かした多様な教育活動を実践し、地域とともにある学校づくりを推進するため、
コミュニティ・スクール事業費 62万円

就学機会の拡大と併せて地域人材の定着などを目指すため、

國學院大學北海道短期大学部修学奨励金 1,300万円

國學院大學北海道短期大学部連携事業補助金 150万円 を計上しました。

滝川市で子育てしたいと思われる環境づくりについては、

不妊・不育症の治療費用の助成により少子化対策の推進を図るため、

不妊治療支援事業費 200万円

安心・安全な出産をサポートするため、

妊婦健康診査支援事業費 2,325万円 を計上しました。

次に、「市民が活躍するまちづくり」についてです。

市民が生きがいを持って活躍する地域づくりについては、

市民の健康増進、世代間交流、地域コミュニティの醸成などを推進するため、

石狩川河川敷パークゴルフ場運営管理事業費 2,772万円

美術自然史館の企画展示を行うため、

企画展事業費 199万円 を計上しました。

次に、「効率的な行政運営によるまちづくり」についてです。

財政健全化の推進については、

市立病院の経営改善や公共施設の見直しに向けた計画を策定するため、

行財政改革推進事業費 1,600万円 を計上しました。

公共施設の一元管理については、

滝川市公共施設マネジメント計画に基づき、持続可能な公共施設運営を図るため、

公共施設修繕事業費 1,485万円 を計上しました。

一般廃棄物最終処分場嵩上げ整備については、

一般廃棄物最終処分場の延命化を図るため、

一般廃棄物最終処分場設置変更届作成業務費 323万円 を計上しました。

滝の川斎苑の改築工事については、

老朽化した現在の斎苑を建て替えるため、

滝の川斎苑改築工事費負担金 1億3,060万円 を計上しました。

第三セクターの経営健全化については、

個別事業の見直しや経費節減などによる経営改善を促進し、第三セクターの経営を支援するため、

滝川振興公社貸付金 6億7,500万円 を計上しました。

次に、これらに見合う平成31年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税について、個人市民税は、給与所得の伸びなどから前年比増額で見込みましたが、法人市民税については、平成30年度決算見込みを踏まえて減額としました。

また、収納率については、現年度分98.1%、滞納繰越分10.6%、合わせて88.8%を確保する予算としたところ、市税全体では、

対前年3,593万円増の 43億2,202万円

地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、

対前年9,334万円減の 66億3,510万円

ふるさと納税による寄付金については、平成30年度決算見込みを踏まえて、

対前年5億円増の 7億円

その他の歳入としまして、

国庫支出金 29億 206万円

道支出金 11億6,082万円

市債 7億4,203万円 を計上しました。

基金繰入金については、対前年1億566万円増の3億6,271万円を計上しております。

以上、平成31年度の各会計予算案の大綱について、申し上げました。

厳しい財政運営の中にありますが、予算計上に当たっては、継続事業に一定の配慮を行ったほか、将来にわたり市民の皆様が安心して暮らせるまちの実現に向けた取り組みに十分配慮したところです。

これを基礎として、平成31年第2回定例会においては政策予算を計上し、地方創生の取り組みなどが推進できることに期待を寄せております。

市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、慎重なるご審議と適切なるご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。